

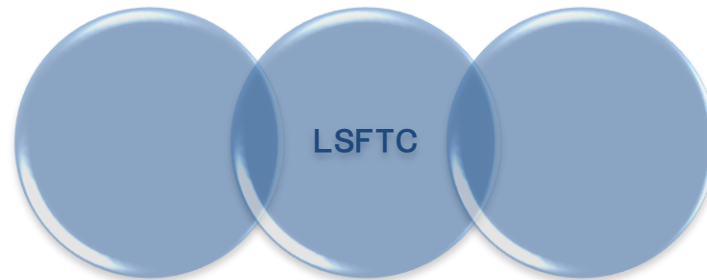
---

< 参考例 >

**ボイラー関連コスト削減プランご提案書**

---

株式会社 \_\_\_\_\_ 御中  
(2トン貫流ボイラー: 1台の場合)



貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
この度は、弊社製品、水質改善機器「LSFTC」ご提案の場を頂きまして誠に有り難うございます。

ご提案させて頂きます弊社開発の**“『清缶剤』及び『脱酸装置』が不要になる”**「LSFTC（LSフランジタイプクリーナー）」は新聞・雑誌等で紹介された通り、画期的なコストダウン装置です。  
ボイラーを使用している御社に於かれましても、そのランニングコストの内、「清缶剤」の費用割合が大きく占めているのではないかと考えられます。その「清缶剤」が不要になるという画期的な機器です。

#### 【本装置の設置効果】

- **設置した日から清缶剤・薬剤（スケール除去剤を除く）・脱酸装置の設置が不要になります。**

#### 【その他の期待される効果】（効果を保証するものではありません）

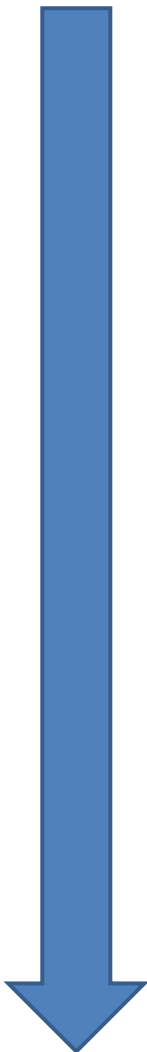
- 清缶剤等投入機器及び脱酸装置の場所・人件費が不要になります。
  - 水中溶存酸素によるボイラ壁面の発錆を抑制します。
  - 導入初期（2～6ヶ月）はスケール等の剥離増量のためブロー回数を多くしますが、その後は電気伝導率が安定するため、ブロー回数が減り、水道料及び燃料費や電気使用料が低減します。
  - 設置数ヶ月後以降から、ボイラ内壁スケールの剥離が始まり、熱伝導率（熱効率）がアップします。
  - 清缶剤を使用しないため、排水処理作業の手間が省けます。
  - 清缶剤を使用しないため、担当者の健康管理や排水の環境汚染の心配がなくなります。
- ◆ **硬度成分除去目的の軟水装置等は、これまで通り使用して下さい。（本機は軟水化目的の機器ではありません）**
- ◆ **本機と清缶剤を同時に使用することは、絶対にしないで下さい。**

これらの効果を確認するために、15年前より試験設置を行ない、設置方法や効果測定（公的指定機関の水質試験結果）等を実施。その結果、予想以上の効果数値を得ることが出来ました。  
設置後、清缶剤を不使用。ボイラー内壁面はスケール(カルシウム・マグネシウム・シリカ等)の付着はなく、黒錆化が進行。

本機器の設置により、清缶剤をはじめとするボイラー関連薬剤のコストダウンは勿論、関連経費の節減で、周辺コストを大幅にダウンすることが可能になりました。（本機器の概要は別冊解説書参考）  
そして有機JAS製法の規格に合致するとともに、ボイラー担当者の健康面への心配がなくなります。

以下、本機器導入のスケジュール及び概要を解説致します。何卒宜しくお願い申し上げます。

- ◇ **特記事項： ボイラー稼働の燃料は、重油（軽油・灯油）、ガス、木材チップ等、すべて適用です。**



1. ヒアリングシートを記入の上、ラコス(株)へ送信
2. 提案書提出
3. 概算見積書提出
4. 採用決定
5. 本体注文書
6. 現場調査
7. 設置工事及び水質検査費用見積
8. 設置工事発注
9. 本体・付属品製造（2週間）
10. 納品・設置工事（清缶剤の補給及び脱酸装置使用中止）
11. 完了後、請求書発行（設置月末締翌月末日支払）
12. 設置12カ月目：メンテナンス（管体及び濾材洗浄、濾材補充）
13. 以降、1年毎にメンテナンス業務

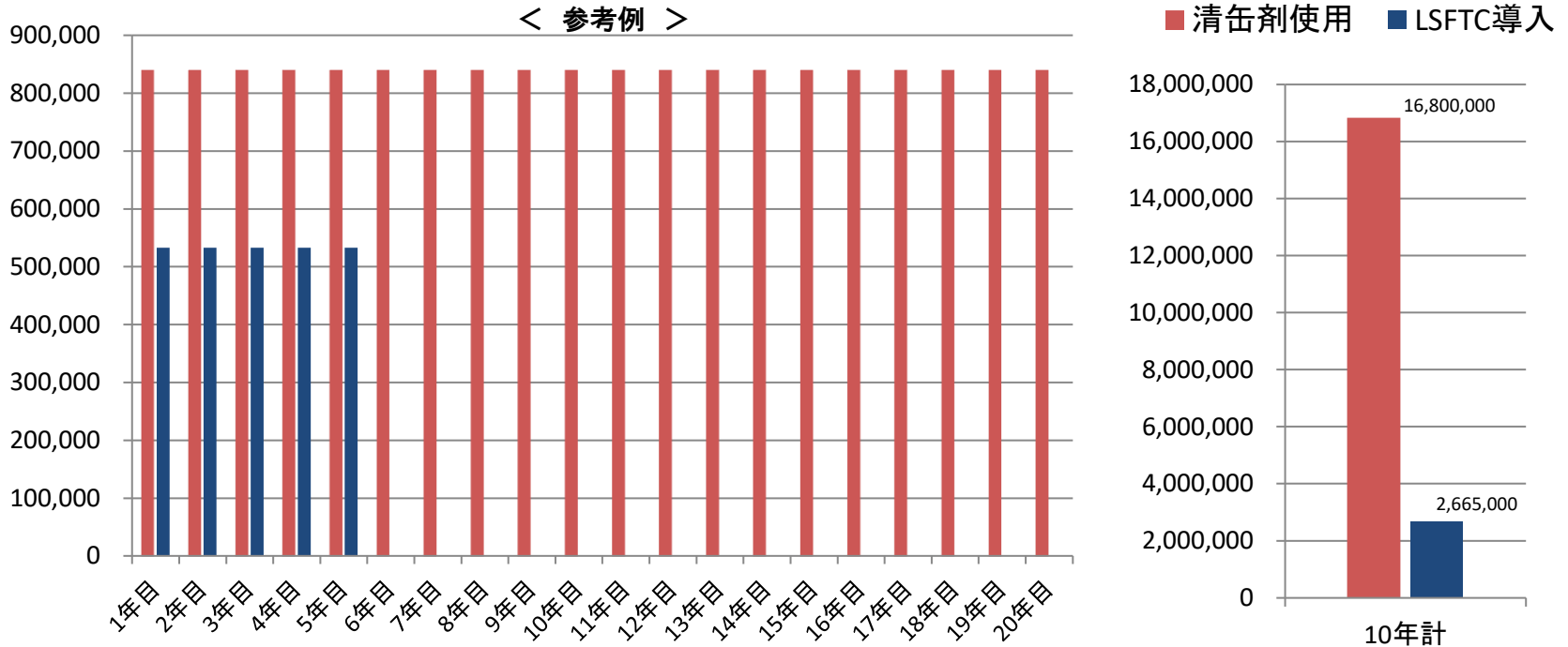
（詳細日程は次頁参照）

## 2. 実施項目日程表

「LSFTC」

実施項目	日 程	1ヶ月目			2ヶ月目		
(1) ヒアリングシート記入	◆						
(2) 提案書提出		◆					
(3) 概算見積書提出		◆					
(4) 採用決定				◆			
(5) 本体注文書				◆			
(6) 現場調査						◆	
(7) 設置工事及び水質検査費用見積						◆	
(8) 設置工事発注							◆
(9) 本体・付属品製造(2週間)							◆
(10) 納品・設置工事※① (清缶剤の補給及び脱酸装置使用中止)							◆
(11) 完了後請求書(設置月末締翌月末日支払)発行							◆
(12) 設置12カ月目 メンテナンス※② (管体及び濾材洗浄・濾材補充)							
(13) 以降、1年毎にメンテナンス※③							
<<所要時間>> ※①～③: 6～8時間							

### 3. 御社の2トン貫流ボイラ: 1台の清缶剤使用(現状)とLSFTC-80タイプを導入した場合の20年間の経費削減効果比較表(例えば5年リースの場合)



#### << 経費削減効果解説 >>

##### < 現 状 > 2トン貫流ボイラー: 1台

ボイラー1台に対して、清缶剤を毎月7万円(年間84万円)を使用しています。例えば本機器リースを組んだ場合のリース期間の5年間では、清缶剤の累計費用は、420万円になります。⇒①



##### < 参考例 >

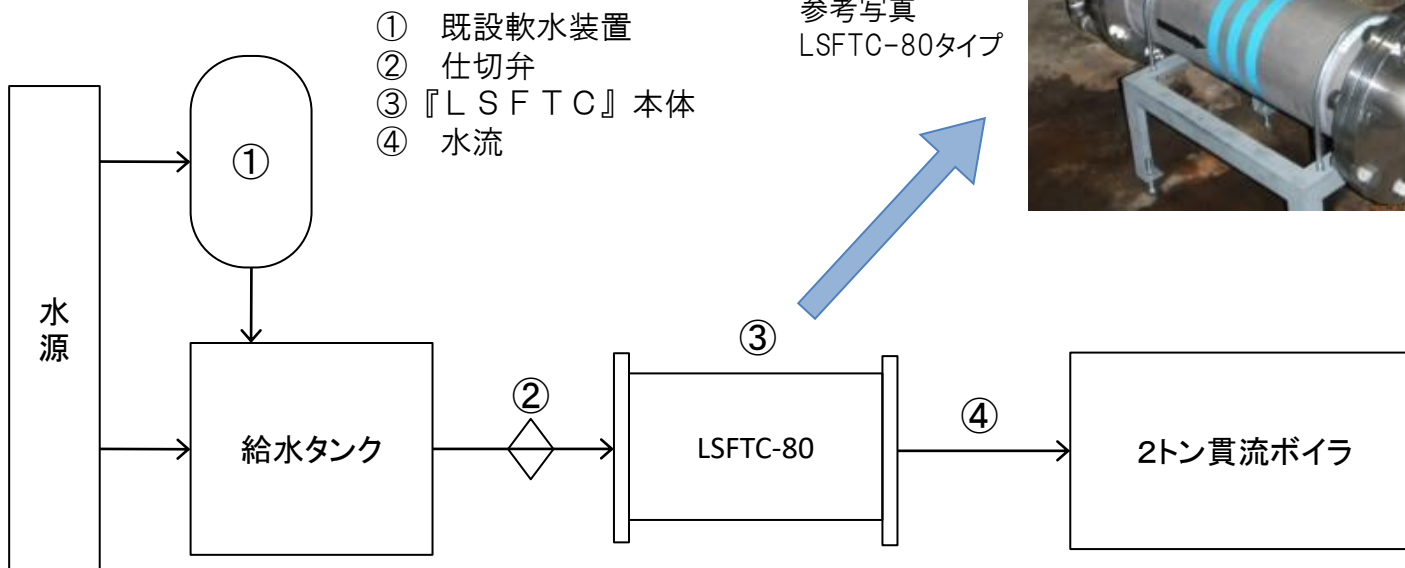
<LSFTC-80タイプ(価格187万円/税別)を導入し、例えば5年のリースを組んだ場合>(※ボイラー1台に対応する) 本体価格及び附帯設備・設置費用等概算で、266万5,000円(税別)になります。⇒② 明細は7頁参照。(決済方法は現金払も可)

これら本装置の費用は、毎年支払っていた清缶剤費用(年間84万円)よりも少ない53万3000円で充当できる金額になります。さらに導入効果(経費削減効果)は、例えば20年間で見ると①×4(=1,680万円)−②(266万5千円)≒約1,413万円となります。設置以降の経費は年1回のメンテナンス費:20万円/補充濾材:2万~3万円/水質検査費:3万円)だけとなります。

『LSFTC』シリーズ

型 式	サイズ(mm)	価格(円/税別)
LSFTC- 80タイプ	320×870	1, 870, 000

《参考フローシート》



参考写真  
LSFTC-80タイプ



# 5. 御見積書

< 参考例 >

「LSFTC」

御中

2023年 月 日

毎々格別のお引き立てに預かり厚く御礼申し上げます。  
 今般、下記の通りお見積申し上げますので何卒ご用命賜ります様お願い申し上げます。

ラコス株式会社  
 東京都港区虎ノ門3-18-6  
 朝日虎ノ門ビル213  
 Tel.03-5473-0335 Fax03-5473-0563

納入場所: 貴社指定場所  
 お支払い条件: 納品月末×切翌月末日、現金払  
 見積有効期限: 次回提出迄

担当	山岡 元春
----	-------

商品名	数量	単位	単価	金額(円)	備考
水質改善機器「LSFTC-80タイプ」(接続配管口径:40A)	1	基	1,870,000	1,870,000	本体一式
エア-抜き・水抜き	1	式	10,000	10,000	
荷造・梱包運送費	1	式	15,000	15,000	
設置費用	1	式	250,000	250,000	概算(現調後確定)
現地調査費	1	式	50,000	50,000	
配管備品・資材一式	1	式	80,000	80,000	概算(現調後確定)
水質検査費用(8項目一式)	5	回	30,000	150,000	詳細:下記備考欄参照
一般管理費(10%)	1	式	240,000	240,000	
小計				<b>2,665,000</b>	消費税別
消費税(10%)				266,500	
合計				<b>2,931,500</b>	

<備考> (1)設置費用は概算です。配管は炭素鋼管(黒)。これらの材質をSUSに指定する場合は、別途御見積とします。  
 (2)水質検査費用 ( 8項目一式:一回¥30,000 ) ⇒5回¥150,000  
 ①設置前・軟水器通過後、②設置前・ボイラ缶水、③設置1ヶ月後ボイラ缶水、④設置2ヶ月後ボイラ缶水、⑤設置3ヶ月後ボイラ缶水  
 (3)ヒアリングシート誤記入による完成品の修正は、実費負担となります。  
 (4)停電日・水道給水停止日には、設置工事はできません。

## 会社概要

---

■会社名	ラコス株式会社
■本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-6 朝日虎ノ門ビル213
■TEL・FAX	TEL:03-5473-0335 / FAX:03-5473-0563
■設立	平成10年 6月 10日
■資本金	2,500万円
■代表者名	代表取締役 山岡 元春
■公的機関の認定	東京都創造的事業活動促進法 認定 認定番号11 労経計計創第1823号
■加盟団体	社団法人 日本ボイラ協会東京支部会員